

令和3年度 子ども大学にしているま

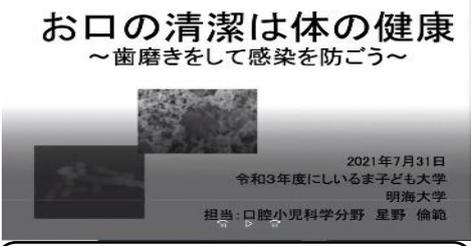
1 実施体制

子ども大学にしているま	学長	藤澤 政紀（明海大学教授）
子ども大学にしているま 実行委員会	実行委員長	藤澤 政紀（明海大学教授）
	実行委員 （関係団体）	城西大学、明海大学、坂戸市教育委員会、毛呂山町教育委員会、越生町教育委員会

2 事業内容

開催期間	令和3年7月31日・令和3年8月28日			
参加者数等	定員	25名	応募者数	11名
	参加者数	4年 4名	修了者数	4年 4名
		5年 2名		5年 2名
		6年 5名		6年 5名

3 実施内容

1日目	開催日時	7月31日（土） 13:30～15:00	 <p>虫歯の原因やウイルス感染予防のための歯磨きを学びました。</p>	
	会場	オンライン（Zoom）での開催		
	講義名	お口の清潔はからだの健康 ～歯磨きをして感染を防ごう!～		
はてな学	講師	明海大学歯学部教授 星野 倫範 先生		
	2日目	開催日時	8月28日（土） ① 9:30～11:30 ② 13:30～15:00	 <p>①「埼玉」をテーマに、皆で一つのヒーローを作り出しました。</p>
		会場	オンライン（Zoom）での開催	
はてな学	講義名	① 生み出せ!ローカルヒーロー!! ～子ども大学にしているまのヒーロー企画を作ろう～ ② 大地からのメッセージ ～化石が教えてくれること（古生物学超入門）～	 <p>②「これは化石に入る？」の○×クイズに挑戦中。</p>	
	講師	①城西大学大経営学部准教授 石井 龍太 先生		
		②学校法人城西大学大石化石ギャラリー学芸員 宮田 真也 先生		

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・全2回の講義をオンライン（Zoom）で実施。
- ・募集の際には通信環境があることや、PC等の端末を用意できることを要件とした。また、開校前には申込者とオンライン通信状況の確認を行った。
- ・修了証については後日郵送。
- ・実行委員会をオンライン（Zoom）で実施。

5 参加者の声

参加した子供の声（感想）

【1日目】

- ・きちんと歯磨きをしたつもりでもできていない事があるということが1番心に残りました。
- ・歯磨きが、コロナの対策になることに、とても驚きました。
- ・オンラインでもあまりやりにくいところはなかったです。

【2日目】

「生み出せ！ローカルヒーロー！！～子ども大学にしているまのヒーロー企画を作ろう～」

- ・キャラクターがどのようにして作られるかはわかりました。僕は意見が出せませんでした。考えをたくさん言える人は勇気があるし、頭もよくてすごいと思いました。
- ・みんなでヒーローを作るのが難しかった。初めてなことばかりだけど、カッコいいヒーローができてよかったです。
- ・みんなで武器を考えるのがすごく楽しかったです。

「大地からのメッセージ～化石が教えてくれること（古生物学超入門）～」

- ・僕の大好きな化石のことをいっぱい学べたので良かったです。
- ・もともと恐竜が好きだったので、とても楽しみにしていました。アンモナイトの化石がもらえて驚きました。恐竜の足跡が化石と知って、驚きました。次の日、狭山の博物館へ実際に行ってみました。
- ・化石の中には石になっていないものもあるのだということを知りました。

保護者の声（感想）

- ・コロナ禍の中、子ども大学を実施してくださりありがとうございます。オンライン授業で、子どもが集中して参加できるのか不安でした。教材を前もって送ってくださり、授業を受ける前に手に取り興味が湧いたようで、思っていたより集中できたと思います。授業が終わった後に、初めて知ったことを嬉しそうに教えてくれました。機会があれば、対面での子ども大学にも参加したいそうです。本当にお世話になりました。
- ・このような場を設けていただき、ありがとうございました。子どもたちにとってとても良い経験になったと思います。大学が取り組むビジネスや地域振興などを直接的なテーマとして教えていただくと、子ども大学生たちの視野がより広がり、将来の夢が生まれるかと思いました。
- ・オンラインと対面だと、子どもたちと先生、学生方と距離感があるように感じました。オンラインのいいところもありますが、対面授業のほうが話し合ったり、協力したりできて良いのかな、と感じました。しかし、今のコロナ禍の対応として、とても安心して講義を受けさせてあげることができたので、よかったです。